

## 思ひあふれて

### 【解説】

今藤政太郎作曲。詞章は佐藤春夫の同名の詩による（「車塵集」所収）。

二〇一四年六月二六日「現代邦楽の夕べⅠ」（於東京藝術大学音楽学部第6ホール）のライブ録音。いわゆる邦楽の古典的な音ではない。しかしこれが邦楽かどうかなんてどうでもいいのだ。

杵屋秀子氏の唄はまっすぐにやって来る。冒頭の1フレーズ「思ひ」の、なんと魅力的なことか。

中川敏裕氏の箏は、自然に唄に寄り添いひとつになる。まだ20代の作曲家（作曲当時）の「思ひ」が「あふれ」ている。

「佐藤春夫さんは、中国の昔の女流詩人の詩をよく訳しておられますが、それらはもうそれぞれが見事に佐藤春夫の世界です。この「思ひあふれて」もその中のひとつです。成熟した女性の歌です。」（今藤政太郎）